

## 2018年 店舗売上高 コメント

### ■2018年1月度

- ・ 1月は、店舗売上高前年比 83.1%、既存店では前年比 84.5%となりました。EC売上高は前年比 170.5%となりました。
- ・ 分類別売上前年比は、応接・寝具が全体を上回り、ダイニングが下回りました。
- ・ 前年1月の売上高は、通常の季節変動値より高い水準の実績でした。

### ■2018年2月度

- ・ 2月は、店舗売上高前年比 92.3%、既存店では前年比 94.4%となりました。EC売上高は前年比 169.9%となりました。
- ・ 出退店につきましては、2月28日にLIFE STYLE SHOP 名古屋駅前を閉店しました。
- ・ 分類別売上前年比は、応接が全体を上回り、ダイニング・寝具が下回りました。
- ・ 東海エリアは、名古屋星崎ショールーの閉店セールの影響による押し上げがありました。

### ■2018年3月度

- ・ 3月は、店舗売上高前年比 83.7%、既存店では前年比 86.0%となりました。EC売上高は前年比 164.7%となりました。
- ・ 出退店につきましては、3月17日にイタリアを代表するラグジュアリーブランド「Poltrona Frau(ポルトローナ・フラウ)」の公式認定フラッグシップショップ、Poltrona Frau Tokyo Aoyamaをオープンしました。
- ・ 分類別売上前年比は、寝具が全体を上回り、応接・ダイニングが下回りました。
- ・ 東海エリアは、名古屋星崎ショールームの閉店セールの影響による押し上げがありました。

### ■2018年4月度

- ・ 4月は、店舗売上高前年比 87.4%、既存店では前年比 89.5%となりました。EC売上高は前年比 153.4%となりました。
- ・ 出退店につきましては、4月8日に名古屋星崎ショールームを閉店しました。
- ・ 分類別売上前年比は、寝具が全体を上回り、応接・ダイニングが下回りました。

### ■2018年5月度

- ・ 5月は、店舗売上高前年比 90.2%、既存店では前年比 91.1%となりました。EC売上高は前年比 178.8%となりました。
- ・ 出退店につきましては、5月27日に春日部ショールームを閉店しました。
- ・ 分類別売上前年比は、応接・寝具が全体を上回り、ダイニングが下回りました。

### ■2018年6月度

- ・ 6月は店舗売上高前年比 82.6%、既存店では前年比 88.8%となりました。EC売上高は前年比 150.7%となりました。
- ・ 分類別売上前年比は、寝具が全体を上回り、応接・ダイニングが下回りました。
- ・ 前年6月の売上高は、通常の季節変動値より高い水準の実績でした。

※店舗売上高前年比と分類別売上高前年比は、算出方法が異なります。  
※店舗売上高:コントラクト(建装)を除いた、店頭販売・提携法人・ECの合計売上となります。  
※既存店:オープンから13ヵ月以上経過し、かつ前年同月に稼動していた店舗の合計となり、月により異なります。  
※速報値を使用しており、決算数値とは異なります。

■2018年7月度

- ・ 7月は店舗売上高前年比 73.4%、既存店では前年比 79.3%となりました。  
EC売上高は前年比 118.3%となりました。
- ・ 分類別売上前年比は、寝具が全体を上回り、応接・ダイニングが下回りました。
- ・ 前年7月の売上高は、通常の季節変動値より高い水準の実績でした。

■2018年8月度

- ・ 8月は店舗売上高前年比 78.5%、既存店では前年比 85.2%となりました。  
EC売上高は前年比 177.1%となりました。
- ・ 分類別売上前年比は、寝具が全体を上回り、応接・ダイニングが下回りました。

■2018年9月度

- ・ 9月は店舗売上高前年比 87.9%、既存店では前年比 96.4%となりました。  
EC売上高は前年比 134.7%となりました。
- ・ 分類別売上前年比は、応接・ダイニング・寝具いずれも全体を下回りました。

■2018年10月

- ・ 10月は店舗売上高前年比 107.7%、既存店では前年比 114.3%となりました。  
EC売上高は前年比 111.9%となりました。
- ・ 分類別売上高は、応接・寝具が前年を上回り、ダイニングは前年並でした。
- ・ 分類別売上前年比は、応接が全体(107.4%)を上回り、ダイニング・寝具が全体を下回りました。

■2018年11月

- ・ 11月は店舗売上高前年比 104.1%、既存店では前年比 110.0%となりました。  
EC売上高は前年比 158.0%となりました。
- ・ 分類別売上高は、応接・ダイニングが前年を上回り、寝具は前年を下回りました。
- ・ 分類別売上前年比は、応接・ダイニングが全体(103.9%)を上回り、寝具が全体を下回りました。

■2018年12月

- ・ 12月は店舗売上高前年比 84.9%、既存店では前年比 88.9%となりました。  
EC売上高は前年比 135.7%となりました。
- ・ 分類別売上前年比は、応接・ダイニングが全体(84.1%)を上回り、寝具が全体を下回りました。

※店舗売上高前年比と分類別売上高前年比は、算出方法が異なります。

※店舗売上高:コントラクト(建装)を除いた、店頭販売・提携法人・ECの合計売上となります。

※既存店:オープンから13ヵ月以上経過し、かつ前年同月に稼働していた店舗の合計となり、月により異なります。

※速報値を使用しており、決算数値とは異なります。